

「第1回 EASE 国際フォーラム Empirical Approach to Software Engineering 2003」 ～ソフトウェア工学への実証的アプローチ～ 開催のご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、この度、文部科学省のリーディングプロジェクト「e-Society 基盤ソフトウェアの総合開発」の一環として展開している「EASE プロジェクト」(代表:奈良先端科学技術大学院大学学長 鳥居 宏次)では、来る11月7日(金)午前10時より東京国際交流会館 プラザ平成(お台場)におきまして「第1回EASE 国際フォーラム Empirical Approach to Software Engineering 2003～ソフトウェア工学への実証的アプローチ～」を開催する運びとなりました。

「EASE プロジェクト」は、奈良先端科学技術大学院大学および大阪大学が平成15年度から文部科学省のリーディングプロジェクトである「e-Society 基盤ソフトウェアの総合開発」の一環として進めているプロジェクトです。EASE(Empirical Approach to Software Engineering)とは、データに基づいた科学的手法によりソフトウェア開発を行うエンピリカルソフトウェア工学の考え方を意味します。ソフトウェア開発の分野において、他の科学や工学の分野と同様に計測、定量化と評価、そしてフィードバックによる改善という手法の実践を目的としています。

今回開催する「第1回EASE 国際フォーラム」は、本プロジェクトの第1回目の大規模なフォーラムで、産業界の方々を中心に500名以上が来場する予定です。同プロジェクトのアドバイザとしても活躍しているエンピリカルソフトウェア工学の第一人者である4名の教授(Victor Basili 教授, Dieter Rombach 教授, Barry Boehm 教授, Ross Jeffery 教授)を海外から招聘し、それぞれ講演を行います。また、各講演者に加え、株式会社CSK 取締役 有賀 貞一氏をパネラーに迎えたパネルディスカッションも行います。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ではございますが、是非とも本フォーラムにご参加いただきたく、別紙の通りご案内させていただきます(WWWページ <http://se.aist-nara.ac.jp/EASE2003/> もございます)。

なお、本件に関するお問い合わせについてはフォーラム前日まではプレス担当者用携帯電話：090-5966-7769 (乾)までご連絡お願い申し上げます。またフォーラム当日(11月8日)につきましては会場受付に直接お越しいただくか、上記携帯電話番号までお問い合わせお願い申し上げます。

敬具

平成15年10月吉日

EASE プロジェクト

追伸

フォーラム参加のご都合がつかない場合には、後日、別に場を設けてご説明する用意もございますので、下記までご連絡をお待ちしております。

EASE プロジェクト (奈良先端科学技術大学院大学)

〒630-0101 奈良県生駒市高山町8916-5, TEL: 0743-72-5318